



# THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO KITA

c/o TOKYO YMCA 2-2-20 TOYO KOTO-KU TOKYO 135-0016, JAPAN Tel.03-3615-5562  
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS. CHARTERED 1980



2016年 4月 No.424

Michian Boonmapajorn(タイ) 国際会長主題:「Mission with Faith」[信念のあるミッション]

Edward K. W. Ong(シンガポール) アジア会長主題:「Through Love, Serve」[愛をもって奉仕をしよう]

渡辺 隆(甲府クラブ)東日本区理事主題:「Stand at the origin and take a step for the future」[原点に立って、未来へステップ]

鈴木雅博(東京江東クラブ) 関東東部部長主題:「Change !!」「チェンジ」

磯部成文 東京北クラブ会長主題:「見方をかえる・味方になる・味方をふやす」

会長; 磯部成文 副会長; 辰馬行男; 書記; 村杉克己 書記; 金 秀男 会計; 村杉一榮 担当主事; 小松康広

【今月の聖句】 ヘブライ 11章1節

『信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認する事です。』

金 秀男会員

## 第541回 例会プログラム《LT》

日時 2016年4月20日(水) 18:30~20:30  
 会場 日本キリスト教団浅草教会 台東区浅草3-4-5  
 受付 村杉一榮  
 卓話「BF代表として~オーストラリアを訪問して」  
 小山久恵氏 (東京サンライズクラブ)  
 ・転入会式~小松康広担当主事  
 ウェディング・アニバーサリー  
 2日 小松康広・美樹 14日 村杉克己・一榮

## 【4月第二例会報告】 村杉克己書記

日時: 2016年4月6日(水) 18:30~20:00  
 場所: 浅草文化観光センター 4階小会議室 (浅草雷門前)

### 1. 第一例会プログラム

- ①第542回 2016年5月18日(水)《EF・JEF》  
「清泉YMCA活動報告」~5名
- ②第543回 2016年6月15日(水)《評価》  
「会員協議会」

### 2. 報告及び協議事項

- ①5月第二例会日変更5月4日(祝) →5月11日(水)に
- ②関東東部評議会他4月16日(土) 東陽町センター
  - ・評議会 13:30~15:45
  - ・クラブ役員研修会 16:00~17:00
  - ・懇親会 17:15~
 出席者確認: 磯部・辰馬・村杉・一榮
- ③清泉女子大学 ガーデンパーティー4月24日(日)
- ④第19回東日本区大会、参加者・ホテル確認
  - \*申し込みは個人で \*フェローシップアワー申込み
  - \*エクスカッションはA (戸隠奥社参拝の旅)
 参加者: 磯部・神谷・金・小仁・小松・辰馬・村杉・一榮  
 出席者: 磯部、神谷、小仁、小松、濱口、辰馬、村杉、山根。

## 「第540回3月例会報告」

磯部幸子会員

日時: 3月16日(水) 18:30~20:30  
 場所: 日本キリスト教団 浅草教会 集会室



金メンバーの司会に始まり、磯部会長の開会点鐘、ワイズソング「いざたて」を皆さんで起立して唄いました。聖書、お祈りは村杉一榮さん、

ゲスト、ビジター紹介。いつも美味しいお弁当を一榮さんが用意してくださることに感謝していただきました。

「やっぱ ワイズだべ」と題して東京西クラブ吉田明弘さんに卓話をいただきました。川の流れるように・・・の話から始まって、私たちのいわゆる奉仕クラブの歴史、趣味や教養、奉仕などを主目的にしたクラブとの違い、ワイズの例会の役割、しかし、奉仕だけでは何年も続かない、どんな奉仕が良いのか、いくつかの奉仕感を紹介された。仕事上の「情報交換」、「親睦」、「奉仕」は目的ではなく、手段では?熱海クラブの例とワイズメンの信条についてと続いた。「ワイズメンの信条」は簡潔にして網羅しているとの感想を述べられて「やっぱ ワイズだべ」をまとめられた。

自分を愛するように、隣人を愛そう  
 青少年のためにYMCAに尽くそう  
 世界的な視野をもって、国際親善をはかろう  
 義務を果たしてこそ、権利が生じることをさとうろう  
 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

諸報告のあとYMCAの歌で締めくくり閉会点鐘となった。  
 出席者: 磯部・幸子、神谷、金、辰馬、濱口、村杉・一榮、山根  
 ビジター: 吉田明弘 (東京西クラブ)  
 清泉YMCA: 初村有稀子、矢代安美

3月在籍者	3月出席者	3月出席率	BF等ポイント	ニコニコボックス
会員 11名	会員 9名	82%	3月分	3月分
	メネット 0名	メイクアップ	切手 0g	10,000円
広義会員 0名	コメント 0名	1名	現金8,500円	本年度累計
合計 11名	ビジター 1名	月修正出席率	本年度累計	83,400円
	ゲスト 2名	91%	切手 5g	
	合計 12名		現金48,500円	

## 「陽春の集い報告」

## 小仁恵子会員



3月5日土曜、東京YMCA東陽町センターのウェルビーに於いて

「陽春の集い」が行われました。このプログラムは地域のお年寄りが楽しみにしており、事前に申し込みをされます。今年145名の方が元気に来てくださいました。つきたてのお餅にあんこ・黄な粉・納豆・辛み大根、お雑煮、漬物と温かいお茶を差し上げました。毎年このことですが、ワイズの方々の手際の良い準備と働きのお陰でスムーズに進行し、お茶担当の我クラブはお湯の調達に忙しく追われました。皆さん談笑しながら美味しく召し上がっていらっしゃいました。お食後は昔懐かしい子ども遊び、けん玉・あやとり・ペーゴマ、書道や吹き矢などを楽しまれ笑顔や大きな笑い声が聞こえてきました。場所を視聴覚室に移動して、福福亭一門の落語を三席と南京玉すだれ、新舞踊、ハッピーブラザーズによる懐かしい歌（青い山脈・高校三年生・バラが咲いた・水戸黄門主題歌など）を聞いたり、一緒に合唱したり・・・楽しんでいる姿が印象的でした。

## 『ヘイト・スピーチ』に思う

## 金秀男会員

2009年、私が実際に体験したことを短くつづった文章を思い起こした。〈地下鉄の階段から出てくる人に向けて、拡声器から声が飛ぶ。「お前は日本人か、韓国人か!」、「朝鮮人だ」と返したところ、たちまち「帰れ帰れ」の合唱が起こる。『永住外国人に地方参政権を! 5.31集会』に参加したときのことである。日本の公安警察は概して右翼に甘いのは周知のことであるが、このときは本当に酷いものであった。耳に拡声器を当てられ叫ばれることの不快さ（傷害罪に匹敵）に加え、本来善良な市民が自由に通行できる場所を確保する任務を負っているはずの警察官によって、逆に私自身の体の自由が奪われる形でその場から会場方面(?)に連れ出されたのである(現場から排除)。故の無い暴行から市民を保護するためだと弁解するのかも知れないが、今まで経験したことの無い対応に大きなショックを受け、折に触れ語ってきたことである。) 今なお「ウジ虫、ゴキブリ」、「死ぬ、殺す」など、人種の憎悪や民族差別を煽動するヘイト・スピーチが、公然と繰り返されている。つい最近もマイノリティが多く住んでいるところへやってきては、堂々と「今からヘイト・スピーチをします。」と、大の大人が恐怖心を覚えるほどの「憎悪表現」、まさに「言葉による平手打ち」を繰り返している。世界的に貧富の格差拡大、将来への不安が高まる中、難民、移住者、その他マイノリティを嫌悪、恐怖の対象として差別、排除しようという動きが強まっている。すべてのいのちを守り、平和の実現を目指すとして謳う日本YMCA原則を再度読み返し、この時代になすべき働きに一層励まなければと思われている。

## ++++ 清泉YMCA便り +++++ 1年 丹羽麻美子さん

3月13日から16日にかけて、石巻スタディツアーに参加致しました。中央大学・立教大学・清泉女子大学の合同で、2月と3月に行くグループに分かれて参加しました。現地では石巻YMCAの伊藤さんに案内をして頂き、あらゆる面で本当に多くのアドバイスをして頂きました。1日目は津波の被害に遭った門脇小学校、つなぐ館に訪問したり、2日目・3日目は児童クラブでのボランティアをはじめ、神社の清掃ボランティアや女川町へ訪問しました。中でも女川町は津波の被害に遭ったとは思えないほどに新しい、とても明るい町という印象を受けました。実際に現地を見たことで分かったことがとても多かったように感じます。4日目は大川小学校、YMCAのご縁でお会いすることができた西村さんとお食事をして実際にお話を聞くことができました。たった数日で多くの人と出会い、つながることができたスタディツアーでした。最終日の夜に「被災地、ボランティアを通してこれから何ができるか」を話し合いました。そこでは日頃の地域間でのコミュニケーションの大切さ、いわゆる「絆」が大切だという意見が挙がり、そして私たちは友人や家族にこの4日間で経験した事を伝え、つなげていくことが必要だと考えました。この度のスタディツアーで出会うことができた多くの方々に心から感謝致します。

\*\*\*\*\* 興望館便り \*\*\*\*\* 荻村竜馬さん\*\*\*\*\*

## 「歴史資料の整理」

興望館には戦前・戦中の資料が現存しています。当時、軽井沢へ資料疎開したため戦火から逃れることができました。文字が整然と並びすべて手書きの文書です。ララ物資関係、東京府や宮内省の発行したもの、戦地から届いた手紙など、紙の質感、文字の筆圧や行間から多くの情報を感じ取ることができます。貴重な資料に多くの方が触れ、活用することができますよう、セツルメント資料室の完成を楽しみに作業を進めます。

## YyYyYyYyYyYyYy YMCAニュース YyYyYyYyYyYyYyYy

- 3月6日、東日本大震災5周年礼拝「いま、未来へ語り継ぐ私たちの記憶」が山手センターで行われ、46名が参加した。飯岡洋介牧師(成増キリスト教会)から、「仕える者」と題してメッセージをいただいたほか、復興支援活動報告や懇親茶話会が持たれた。ゲストには、テイラー基金国際交流プログラム参加高校生や平井孝次郎牧師(YMCA石巻支援センターテナントオーナー)、石巻広域ワイズメンズクラブ有志を迎えてお話を伺った。東北の物産販売も行われ、買い物を通じて被災地の復興を応援した。
- 西東京コミュニティセンターが1955年に武蔵野市西久保に「武蔵野ランチ」として誕生して60年を経つことを記念し、4月16日、「西東京センター60年記念会」が国立商協ビル(さくらホール)にて開催される。武蔵野ランチは東京YMCAが3番目に設立したランチで、寄宿舎事業を行なったほか、家族会員制度を作った子どもや女性を対象とした地域プログラムを展開。さらに主事や会員の熱意によって「昭島センター」や「杉並センター」、「立川センター」を次々と設立し、広く東京西部で活動を展開してきた。1972年には三鷹駅近くに移転、1996年からは「西東京センター」として国立市に拠点を移して活動している。

(小松康広担当主事)

YyYyYyYyYyYyYyYyYyYy YyYyYyYyYyYyYyYyYyYy